

## 社会との関わり

### 東日本大震災被災地への支援

2011年3月11日に起こった東日本大震災の発生に対し、当社に関しては社員全員の無事が確認されたものの、一部仕入れ先関係者の方々が被害に遭われました。その方々をはじめとする被災地の皆様へ、少しでも役立てていただけるよう、東海理化グループとしてできる限りの支援を実施しました。

#### 寄付・物資支援

当社及び当社関係会社より、義援金として3,000万円、物資・車両の提供として2,000万円相当、総額約5,000万円の寄付・寄贈を行いました。また有志による募金活動や物資提供も積極的に行いました。



▲被災地に車両を寄付

#### 被災地への社員ボランティア派遣支援

トヨタグループ各社協働による被災地復興支援ボランティア活動に5名の社員が参加しました。

参加者は、5日間の日程で現地へ入り、陸前高田市、大船渡市、住田町内で漂流物の回収、個人宅の泥出し・不用品の抛棄、道路側溝の泥出し、細かな瓦破片の回収などを行いました。



▲がれきの撤去作業

### 社会貢献活動

#### スポーツイベントへの協賛

愛知県の全市町村がチームを組んで参加する「愛知県市町村対抗駅伝競走大会(愛知駅伝)」に、当社は第1回大会より主要な協賛スポンサーとして協力しています。大会当日は社員がボランティアで走路員として運営にも協力しています。



▲スタートの様子

2011年度  
東海理化  
エコ川柳

家族賞入選作

家族賞  
もったいない  
地球を守る  
愛言葉

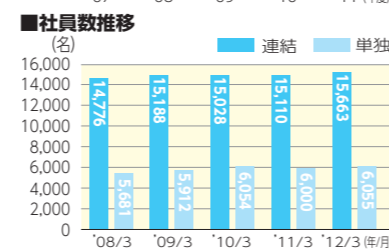
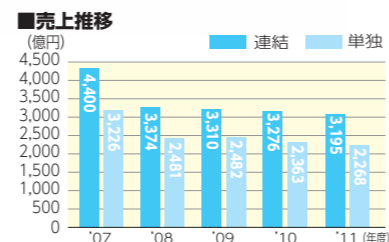
家族賞  
夜景より  
見上げてみよう  
夜の空



### 東海理化プロフィール



- **社名** 株式会社東海理化  
(登記社名 株式会社東海理化電機製作所)
- **設立** 1948年8月30日
- **事業内容** 自動車部品の製造・販売
- **資本金** 228億円(2012年3月末現在)
- **主要なグループ社** 子会社 国内6社 海外19社  
関連会社 国内3社 海外3社 (計31社)



### 株式会社 東海理化

発行/2012年7月  
発行部署/株式会社東海理化 施設環境部  
問い合わせ先/〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地  
TEL (0587)95-9002 FAX (0587)95-1261  
URL <http://www.tokai-rika.co.jp/>  
(本報告書の情報は、インターネットのホームページでもご覧いただけます)

この報告書(2,500部)作成にかかる  
CO<sub>2</sub>合計排出量 127.0kg-CO<sub>2</sub>

この印刷物2,500部を作成する際に排出されたCO<sub>2</sub>排出量127.0kgは、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じて、国連で認証された排出権(CER:インド国Himachal Pradesh 州Mandi地区の水力発電事業)によりカーボンオフセットされ、地球温暖化防止に貢献しています。

- ・この報告書はFSC森林認証紙を使用しています。
- ・ユニバーサルデザインの視点にもとづいた書体(UDフォント)を使用しています。
- ・石油溶剤の割合が少なく、生分解性に優れた植物油インキを使用しています。
- ・有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷方式にて印刷しています。
- ・ISO14001 認証取得工場にて印刷しています。



Harmony Between People, Cars and Earth

# 環境・社会報告書 2012

## ダイジェスト版

詳しい活動報告は  
当社ホームページを  
ご覧ください

<http://www.tokai-rika.co.jp/>

地球のため  
地域のため  
私たちができること



TOKAI RIKA

# 自然、地域と共生する企業をめざして

2011年度は原発停止による電力不足、タイの大洪水、円高など激動の年でした。そのような中、当社では「第5次中長期環境取り組みプラン」スタートの年として、「低炭素社会」、「循環型社会」、「環境保全と自然共生社会」の構築、「環境経営」の4項目を軸に活動を進めています。

また社会活動では、東日本大震災被災地への救援物資、ボランティア活動による復興支援を行っています。社内では全てに優先すべき基本である安全面で、過去に発生した重大災害を風化させることなく、家族が見ても安心できる「安全職場」を目指して活動に取り組んでいます。



## 東日本大震災の影響による電力不足への貢献

浜岡原発停止による電力会社からのピークカット要請\*を想定し、さまざまな対策を検討・実施しました。

\*当社は電力会社との間で、要請時に一定の電力を下げる「緊急時調整契約」を締結しています。



▲本社工場リハーサル風景

### ピークカットリハーサル実施

電力会社からピークカット要請が発令された状況を想定し、ピークカットリハーサルを実施しました。間接部門においては実際に空調を停止、工場においては一部の生産設備の停止を実施するなど、具体的なシミュレーションを行い、ピークカット要請時に対する体制を整えました。



▲音羽工場コージェネレーションシステム外観

## 緊急節電活動

徹底した節電活動を行いました。

ピーク電力 前年度比 **11%減** を達成しました。

### 生産設備の断熱による空調負荷低減

放熱口している箇所に断熱材を設置することで、設備の節電と空調負荷を低減しました。



▲乾燥機断熱材設置

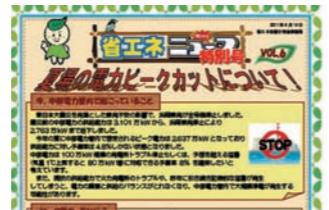
### 「東海理化でんき情報」の配信

中部電力でんき予報と東海理化ピーク電力実績を毎日メールにて配信し、当日の電力余裕率の情報を発信しました。



### 「省エネニュース特別号」の配信

社内向けに省エネニュース特別号の配信を行い、ピークカットについて説明をしました。



### 「省エネパトロール」の実施

事務所向けの節電チェックシートを作成し、それを基に省エネパトロールを行いました。

- 稼働日変更(土日休み⇒木金休み)
- 自動販売機や給茶機の稼働台数制限
- クールビズ期間の延長(従来6/1~9/30⇒5/16~10/31)

項目	確認	結果
1. 照明の点検	点検済み	○
2. 空調の点検	点検済み	○
3. 冷蔵庫の点検	点検済み	○
4. 節電チェックシートの作成	作成済み	○
5. 省エネパトロールの実施	実施済み	○

## 「重大災害ゼロ」に向けた緊急活動 ~緊急安全メッセージ~

「重大災害」を絶対に起こさないために、仕入先も含めたグループ全体に、社長より緊急安全メッセージを発信しました。

### 1 東海理化グループの状況

東海理化グループは、「安全第一」を基本に、諸活動を展開しているが、まだ職場には甘さが見られる。「真剣に取り組んでいる状況」とは、決して言えない。

### 2 過去の災害を風化させない

当社において、絶対風化させてはいけない過去の重大災害が3件ある。こうした過去の災害を「2度と繰り返さない」という強い思いと決意を持ってください。

### 3 経営の基本施策

重要な経営の基本施策の順番は、①安全、②品質、③生産、④原価(利益)があげられる。決して順番を間違えてはいけません。

### 4 安全は作業の入口

豊田英二最高顧問(トヨタ自動車)の言葉を、今一度全員で心に刻みましょう。「安全な作業は、作業の入口である。私たちは、まずしっかりとこの入口を通りましょう。」

### 5 最後に

安全スローガン「安全は全てに優先」「災害0」は私達の願いを、改めて全員でしっかりと確認し、東海理化グループの総力をあげて「安全」を確保していきましょう。



▲緊急安全メッセージを発信する中社社長

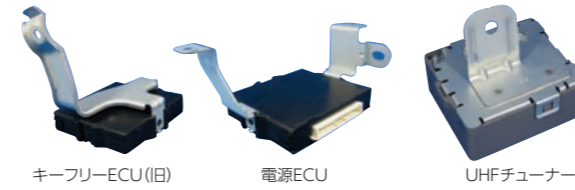
## 環境との関わり

### 省エネや環境負荷物質低減に貢献する製品開発を進めています

#### 軽量化によるクルマの燃費向上への貢献

従来、別々に存在していたキーフリーシステム用のキーフリーECUと、電源ECU、UHFチューナーを統合しました。また、ブラケットを金属製の別部品とするのを止め、ECUのケース(樹脂)と一体化させることにより、従来品(3部品合計)から約52%の軽量化を達成しました。

#### 従来(キーフリーECU、電源ECU、UHFチューナー別体)



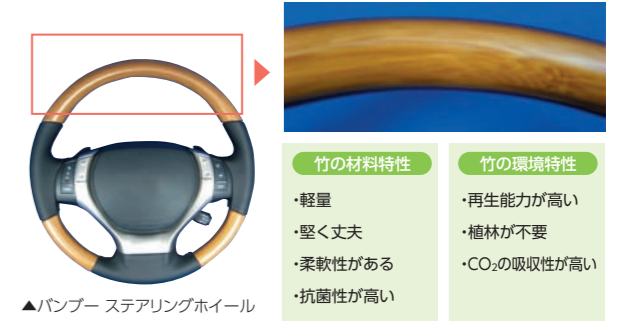
改良後(キーフリーECUに統合・一体化) **385g→185g**  
**52%軽量化**



キーフリーECU(新)

#### 環境負荷物質の低減

竹の積層接着と曲げ工法を採用したことにより、世界で初めてステアリングホイールに竹材を採用することに成功しました。竹は軽量かつ丈夫で、生育年数が3年と非常に早く他の樹木と比べて環境負荷が低い素材です。当社のバンブーステアリングホイールは、地球環境にやさしい素材である竹材を用いたこと、木目を生かしたデザイン性の高さなどが評価され、従来のウッズステアリングホイールと同様、市販車に採用されています。



▲バンブーステアリングホイール

竹の材料特性	竹の環境特性
・軽量	・再生能力が高い
・丈夫	・植林が不要
・柔軟性がある	・CO <sub>2</sub> の吸収性が高い
・抗菌性が高い	

## 温室効果ガスの排出量低減活動を進めています

### 省エネ道場の開設

「省エネ技術・技能を伝承する場」として「省エネ道場」を本社工場に開設しました(2012年3月開設)。これまでに全工場、全設備を対象に行ってきた、「省エネパトロール」「省エネ診断」「多消費設備の省エネ対策」などを基に、当社の省エネ技術・ノウハウを集約し、社員が技術・技能を習得する場として活用していきます。



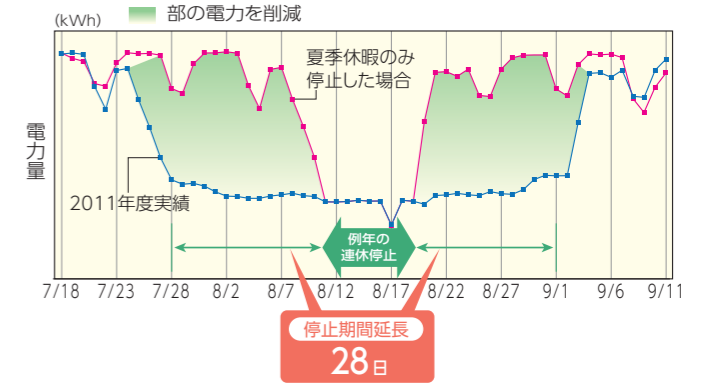
▲省エネ道場での修行

### 工場の取り組み

#### 半導体工場の長期稼働停止

当社の半導体工場は製造条件維持のため、長期連休を除き非生産時もスタンバイモードで通電しています。震災の影響で生産が下がったため、生産の寄せ止めを行い、春季及び夏季連休前後の工場停止期間を延長し、152t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>排出量を低減しました。

#### ■半導体工場の電力量推移(夏季連休の場合)



## 事業活動を行うあらゆる地域で環境保全を展開しています

### TRT(タイ)の取り組み事例

- 所在地  
タイ ラヨン県  
アマタシティー工業団地
- 事業内容  
キーロック、コンビスイッチ、  
パワーウィンドウスイッチ
- 社員数  
1,800名



#### エネルギーパトロールの実施

6月に4日間、生産設備、空調、照明に使用している電気やエアなどのエネルギーにムダがないか、エネルギー管理チームによるパトロールを行い、改善を進めました。



▲エネルギーパトロール

#### アマタシティー工業団地のエコ植樹活動に参加

アマタシティー工業団地の緑化を進める活動に参加しています。2011年度は5月11日に植樹会が開催され、参加者全員で1,200本の木を植樹しました。



▲エコ植樹活動